高生の足跡

北九州市立高生中学校
学校通信　平成28年を振り返って　No.16
発行責任者　校長　寺田　訓康
ＴＥＬ　８８１－３２７６
平成２９年１月１０日発行

■ 平成28年の高生中の記録

部活動の成績

〇女子テニス部
・夏季大会　団体戸畑区優勝、個人３位
・市中学校秋季テニス大会　優勝
・新人大会
団体　戸畑区と北九州市で優勝、
個人　優勝と
　　準優勝
団体と個人２組で県大会出場

市で優勝したテニス部の表彰の様子です。

〇陸上部
・四種チャレンジ記録会　男子４×100mR　３位
・県通信陸上　800m優勝、走り幅跳び優勝
・夏季県大会出場　走り幅跳び,400m,800m
・夏季駅伝大会　男子戸畑区優勝
・新人駅伝大会　男子戸畑区優勝

〇男子バスケット部
・春の戸畑区シード大会優勝
・夏季大会　戸畑区優勝
・新人大会後戸畑区選抜チームに２名選ばれる

〇女子バスケット部
・夏季大会　戸畑区準優勝

〇剣道部
・新人大会戸畑区優勝

〇空手部（活動は学校外）
・県大会出場

〇水泳部（活動は学校外）
・夏季大会　県大会出場　男子50m,100m自由形
　　女子 400m,800m自由形

〇体操部（活動は学校外）
・夏季大会県大会出場

〇美術部
・飛翔（市内の中学生の文芸作品集）の表紙に選ばれる
・港と製鉄所スケッチ大会　２名入選　　標語

※地域のクラブチームで野球やラグビー・スキーに頑張っている生徒もたくさんいます。

ボランティア

・福原賞（中学生の全校表彰）に２名選出。次年度も１名応募しています。
・熊本自身被災地支援物資に協力（KDS（未来の市のリーダーを育てる活動）に１名参加しているため）

熊本への支援物資の贈呈

小川知事と一緒に（菊賞の授賞式で）

・小学校と一緒に花一杯運動（１年生全員が参加）
・家庭科部が小学生とお菓子作り
・益城町立木山中学校にひまわり寄贈（PTA、生徒会が協力して。裏面にお礼の手紙を掲載）
・ボーイスカウト福岡県連盟より菊賞（最高進級章）を受賞
・浅生ふれあい祭りにポスター出品
・牧山東市民センター文化祭にポスター出品
・牧山市民センター文化祭にポスター出品
・戸畑区青少年健全育成キャンペーンで宣言文を読み上げ
・小東山笠囃し方は数々のイベントに参加
・毎朝の清掃活動。数名の生徒が自主的に学校近辺の清掃を行ってくれています。（写真はALTの先生と一緒に）

コンクール等

・少年非行防止ポスターで優秀賞と入選
・読書感想文コンクールで２名優秀賞
（１名は代表で朗読１名は代表で表彰される）

観衆の前で作文の朗読（リーバーウオークにて）

・イングリッシュコンテストに２組参加
・少年非行防止ポスター展に優秀賞、努力賞、参加賞８名受賞
・人権週間
標語１名、書写１名、ポスター2名入選。標語は横断幕で現在学校に展示中。13名ウエルとばたに展示しました。

「ほんとうの強さは優しさ　思いやり」
学校のフェンスに掲示した人権標語

・社会を明るくする運動作文コンクール
戸畑保護司会会長賞（他にも入賞者がいます。）

○地域からのご協力

・ブックヘルパー　3名の方にご協力頂いています。
・小東山笠の運営、練習。

校庭で担ぎ方、組み方の練習。（毎日二十名近くの方にお手伝い頂きました。）

28年は、30周年記念として文化発表会にも提灯山笠の展示と囃し方の披露を手伝っていただきました。

文化発表会には、提灯山の前で太鼓を叩きました。（三十周年と合同で）

・体育大会や文化発表会など大きな行事には、多くの方に、必ずお手伝いいただいています。

○先生達も頑張っています

・県外の良い点を学びにいきました。
（岐阜県、茨城県、秋田県、宮城県、大分県に1名ずつ参加。福岡市など、県内での研修会には多数参加。）
・研修会で学校や北九州市の取組を発表しました。
（北九州市、沖縄県、京都府、宗像市）
・教育センターでの講師（先生の先生）になりました。
（2名の先生）
・教育公務員弘済会主催の論文で、学校論文が、優秀賞を頂きました。
・優秀教員に選出されました。

ここには、すべて載せられませんでしたが、多くの場面で高生中学校は頑張っています。まだまだ十分ではありませんが、地域の皆様に誇りに感じていただけるような学校にしていきますので、これからも一層のご協力をお願いします。ぜひ体育大会や文化発表会などで高生中学を実際に感じていただけるとありがたいと思っています。

木山中学からのお礼の手紙です。「当たり前のことが当たり前にできるありがたさ」を私たちも忘れないようにしたいと思います。（横向きで申し訳ありません。）↓

北九州市立高生中学校の皆様へ

この度は、木山中学校に御支援いただきありがとうございました。今、益城町は震災から時間が止まってしまったところや、普段の通学路にも危険な場所がまだまだ残っている状況です。

1学期の間、私たちは隣の小学校を間借りする形で学校生活を送ることになりました。“いつも通り”ではない生活が始まり、戸惑いもありました。しかし、今年度の生徒会スローガンを胸にみんなで励まし合い、支え合いながら頑張ることができました。2学期からは元の中学校での生活を送ることができています。

ここに至るまでにたくさんの御支援、励ましの言葉をいただきました。中学校に来て、皆様からの御支援があったことを聞くと、自然と「頑張らなくては」という気持ちになりました。また、生徒全員が皆様のおかげで笑顔になることができました。

この経験を通して“当たり前が当たり前にできること”がどれだけありがたいことか学びました。そして、私たちは“木山中がすき、益城町がすき”という思いが強くなりました。だからこそ、これまで以上に各活動に力をいれ、木山中学校から益城町を復興できるようにしていきたいと思います。これからも皆様への感謝の気持ちを忘れず、誰かのためにできることを考えることができる生徒を目指していきます。

最後に、皆様の今後のご多幸をお祈りして、お礼の言葉といたします。本当に御支援・応援ありがとうございました。

益城町立木山中学校　生徒代表
生徒会長　友村琳菜

はるかのひまわりも大きくなり、たくさん咲きました。

スローガンとメッセージを校舎に掲げ、気持ちを強くしていきます。